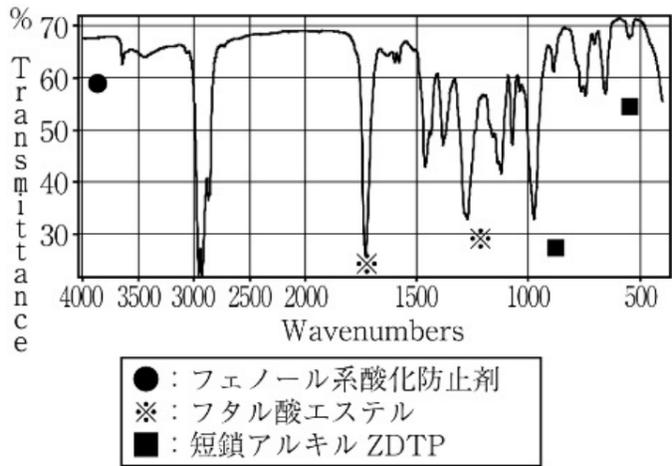
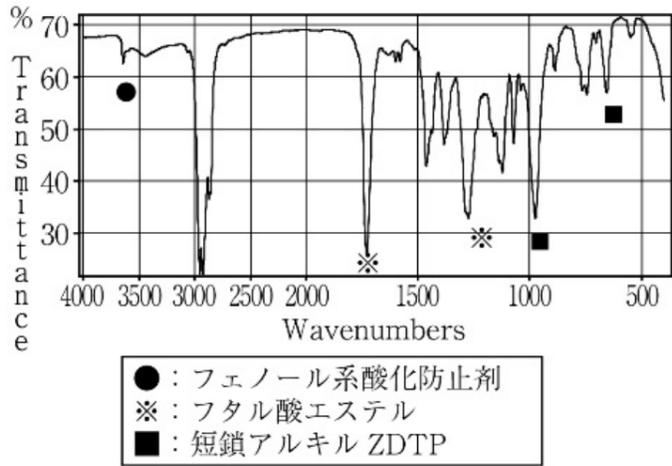
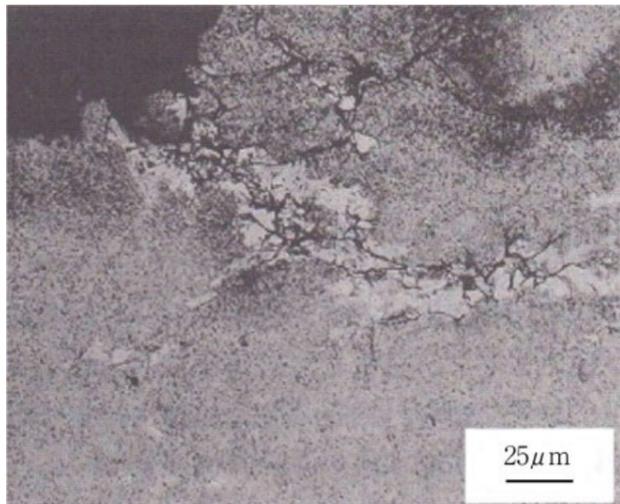
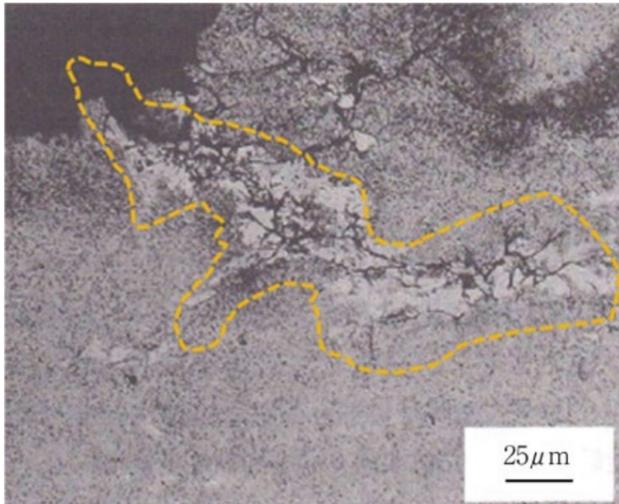


カテゴリⅢ 正誤表 (第1版)

頁	誤記箇所	誤	正
12	上から 22 行目	ほぼ指数関数的に粘度が増大すること	ほぼ指数関数的に増大すること
19	上から 18 行目	鉱油系の基油は、	<p>潤滑油は液体であるため、蒸気圧を持っている。蒸気圧を持っているからこそ、引火点を有しているのである。しかしながら、一般的には通常の潤滑油の使用上において、潤滑油の蒸気圧の値がきわめて小さいこと、および直接的に性能に影響する物性でないことから重要度としては、あまり高くないという実情もある。</p> <p>ただし、潤滑油の使用上で蒸気圧が性能に影響する場合も現実には存在する。たとえば、真空ポンプ油において真空度は蒸気圧に左右されるし、熱処理油においては冷却性能に多大な影響を与える。また、エンジン油や圧縮機油においてはシリンダライナ部で潤滑油が高温にさらされるため油消費量に影響を及ぼす。その他、潤滑油ラインに減圧部が存在するような場合、発生する蒸気によるキャビテーションが問題になることもありうるのである。</p> <p>油回転真空ポンプ油には、一般的な鉱油系のものから分子量分布の幅が狭く、かつ蒸気圧の低い合成炭化水素、シリコーン、フッ素系などの合成基油が使用される。高度な真空を得ようとする場合には、基油に蒸発性が低いものを適用するだけでなく、真空ポンプに充填されている潤滑油に、揮発性の溶媒や不純物が混入しないよう管理することも重要である。</p> <p>鉱油系の基油は、～</p>
54	上から 2 行目	5.1 節で述べたように	4.1.1 項で述べたように
54	上から 6 行目	実際に GF-3 を含め	実際に ILSAC 規格油 GF-3 を含め
66	図 8.21	 <p>●：フェノール系酸化防止剤 ※：フタル酸エステル ■：短鎖アルキル ZDTP</p>	 <p>●：フェノール系酸化防止剤 ※：フタル酸エステル ■：短鎖アルキル ZDTP</p>
102	図 9.7	 <p style="text-align: center;">光学顕微鏡観察 (ピラクール腐食)</p>	 <p style="text-align: center;">光学顕微鏡観察 (ピラクール腐食)</p>
109	上から 25 行目	油膜破断	膜破断
172	下から 6 行目	試料油 1ml. 当たりの	試料油 1ml 当たりの
174	上から 3 行目	1ml. の試料油で	1ml の試料油で
238	式 (10.18)	$u_{rv} = \frac{U_{rv}}{2v}$	$u_{rv} = \frac{U_{rv}}{2v}$
252	練習問題の解答	問題 2-13 【回答】 ③	問題 2-13 【回答】 ④
252	練習問題の解答	問題 2-14 【回答】 ④	削除
252	練習問題の解答	問題 9-12 【回答】 ②, ④	問題 9-12 【回答】 ①, ④